



南和広域医療企業団発行

# はびねすだより 4号

～南和地域の医療と健康に関する情報誌～



看護部研修  
急変時対応トレーニング



## 今号の内容

- 在宅医療支援センター …p.2
- お知らせ
- \*平成28年度 南和広域医療企業団 健康出前講座 …p.3
- \*健康フェスティバル2016 開催 …p.3
- 認定看護師の紹介 …p.3
- 部門紹介 放射線部 …p.4
- 編集後記 …p.4

## 看護師募集中!

みんな笑顔で一緒に働こう!

企業団では、看護師を随時募集しています。詳しい内容は、ホームページ内の「看護職員募集」をご確認ください。

南和広域医療企業団は、県と1市3町8村で構成し、下記の南和3公立病院を運営しています。

- |                  |                                 |                  |
|------------------|---------------------------------|------------------|
| (連絡先)南奈良総合医療センター | 〒638-8551 吉野郡大淀町大字福神8-1         | 電話: 0747-54-5000 |
| 吉野病院             | 〒639-3114 吉野郡吉野町大字丹治130-1       | 電話: 0746-32-4321 |
| 五條診療所            | 〒637-0036 五條市野原西6-1-18 カルム五條敷地内 | 電話: 0747-22-2810 |

企業団の病院では、診療科や医師、看護師、薬剤師、検査技師等の部門の枠を越えてメディカルスタッフが互いに連携することでチーム医療を行っています。今回は、南奈良総合医療センターの在宅医療支援センターを紹介します。

## 在宅医療 支援センター



### 訪問診療・訪問看護を行っています

#### 目的

病気や障害を持った方が、住み慣れた自宅で自分らしく過ごしていただけるように全力でサポートさせていただきます。

医師、看護師などが生活の場へ訪問して、医療・看護を提供し療養生活を支援します。

#### 対象となる方

病気や障害等のため、自宅での療養を必要とされる方。

がんの末期や褥瘡（床ずれ）、点滴や在宅酸素療法など、医療的な処置の必要な方。  
寝たきりやそれに準じた状態で、通院や薬の管理が難しい方。

#### サービスの概要

訪問診療では医師と看護師が定期的に訪問し、必要に応じて医療的な処置や検査を行います。急変時の往診や入院の手配、また終末期の自宅での看取りも積極的にを行っています。

訪問看護は専属の看護師2名で、症状の観察や褥瘡、胃ろう、在宅酸素、点滴や注射の管理や指導を行います。必要に応じて認定看護師の訪問も行います。

#### 対象地域

訪問の対象地域は南奈良総合医療センターから片道16km圏内車でおよそ30分以内の大淀町・五條市・下市町などの地区。

#### 訪問日時

平日9:00～16:30。夜間・休日の急変時は地域の訪問看護ステーションと連携をとり、24時間対応しています。



在宅医療についてのご相談は  
電話0747-54-5000

(内線1700)

窓口は入退院受付②にて対応させていただきます。お気軽にご相談ください。

### 吉野病院 在宅医療支援室



#### サービス概要

原則として、対象地域は吉野病院から片道16km圏内です。毎週、月曜日・金曜日（休日は除く）の午後が訪問診療の提供時間です。

平日訪問診療日以外・夜間・休日の急変時は、吉野病院の訪問看護、または、地域の訪問看護師等と連携をとり対応します。

#### 在宅医療についてのご相談

電話：

0746-32-4321

(内線3130)

窓口：

地域連携室受付



南奈良総合医療センターの内容とは異なる点があります。詳しくは、吉野病院にお問い合わせください。

## お知らせ

平成28年度 南和広域医療企業団

### 健康出前講座

医師をはじめ医療従事者が、様々な分野の健康についての情報を住民の皆様のもとに直接出向きお話しをさせていただきます。

講座メニュー（抜粋）

46 飲み込みの障害のある方が自宅でできる肺炎予防

（食事の際によくむせる方は、肺炎となる可能性が高くなります。肺炎予防のためのお口のケア、食事介助の方法、食事の工夫について説明します。）

51 在宅での介護に役立つ知識  
（在宅での介護の中で、知っていれば役に立つ方法を紹介し、体験してもらいます。）



等

申込方法・「健康出前講座」メニュー等詳しくは、企業団ホームページをご覧ください。  
⇒トピックス内[健康出前講座]をクリックしてください。

企業団主催

### 健康フェスティバル2016 開催

『脳卒中に挑む』をメインテーマに、公開講演会をはじめ、健康チェック、健康相談、バザー等、楽しみながら脳卒中などについて学べる催しを行います。

日時：11月20日（日） 10時～16時

場所：南奈良総合医療センター

内容：

◎オープニングコンサート：大淀中学校吹奏楽部による演奏

◎公開講演会：演題 脳梗塞と脊髄損傷の再生医療

講師 札幌医科大学教授 本望 修先生

◎健康チェック 血圧測定、体脂肪測定など

◎ロビーコンサート：県ジュニアオーケストラによる演奏

◎脳卒中片麻痺の疑似体験

◎脳卒中予防レシピ 限定100食を提供予定（有料）

※その他、消防車・救急車展示、模擬店など皆で楽しめる催しがいっぱい!!

皆様のご来場をお待ちしております。



## 認定看護師の紹介

当院に所属する認定看護師8人を、今号と次号で紹介していきます。



### 摂食・嚥下障害看護認定看護師

佐谷 直美

摂食・嚥下障害とは、病気や加齢などの原因により、口から食べ物を摂取すること飲み込むことが難しくなるなどの食べる機能の障害をいいます。

摂食・嚥下障害看護認定看護師は、どうすればこの障害をもった患者の気持ちを理解し、専門性を活かした看護が展開できるかを日々相談しながら、「食べたい」を支えることができるよう活動しています。



### 皮膚・排泄ケア認定看護師

馬場 精江

皮膚・排泄ケア認定看護師は、健康を害した皮膚ならびに障害のリスクの高い脆弱な皮膚に対するスキンケアを中心に、褥瘡（床ずれ）・ストーマ（人工肛門）・失禁等の管理、患者・家族の自己管理支援、スタッフ教育を行なっています。

今後は、ストーマをお持ちの患者さんが日常生活を快適に過ごせるようストーマ外来の開設を目指しています。



### がん性疼痛看護認定看護師

岡本 亜紀

人が身体に感じる不快な感覚にはさまざまありますが、その中でも“痛み”は日常生活の活力を最も妨げるものです。

がん性疼痛看護認定看護師は、専門的知識やスキルでその痛みを和らげ、患者が穏やかに笑顔で過ごせるよう、訪問診療も含めたケアや患者相談に応じています。



### 緩和ケア認定看護師

辻本 芳子

緩和ケア＝終末期、がん疾患のケアとイメージされがちですが、死を前にした患者さんや家族の生活の質向上を目指した全病期に提供されるケアであるといわれています。

非がん疾患も含めた緩和ケアを考え実践することも役割であり、一緒に働く仲間と日々のケアについて考え実践しています。

認定看護師についてもっと詳しくお知りになりたい方は、ホームページをご覧ください。  
⇒[南奈良総合医療センター看護部]ボタン(ページ右下)⇒[スペシャリスト]をクリックしてください。

## 部門紹介

最新の医療機器とチーム医療によって、安全かつ高度な医療を提供します

# 放射線部

放射線部は病院の中央部門のひとつで、放射線科医をはじめとする各科医師と診療放射線技師、看護師および事務職員で構成され、地域の皆様に質の高い検査・治療を安心して受けていただけるよう努めています。



## 主な検査の紹介

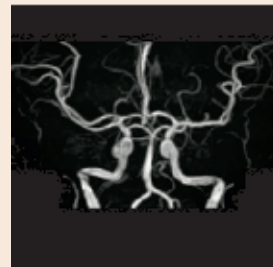
### CT検査



CT (computed Tomography: コンピューター断層撮影) は、身体の周囲をX線管と検出器が回転し体の横断面画像を得るものです。最新の被ばく低減技術や超高速撮影が可能な装置で患者さまに負担の少ない検査を行っています。また、撮影されたデータは横断面だけでなく骨や血管の3次元画像を作成して診断に有用な情報を提供しています。

### MRI検査

磁石が埋め込まれたトンネルの中に体を入れて、磁石と電波を利用して体の中を調べる検査です。使用する磁気や電波は無害で、X線被ばくもなく、体のあらゆる角度の断面像が得られます。また、造影剤を使用せずに血管の画像 (MRA) や胆・膵管画像 (MRCP) も描出できます。



頭部MRA



腹部CT 3D画像

### 血管造影・IVR-CT検査



血管内にカテーテルという細い管を挿入し、造影剤を注入して病変による診断を行い、さらに腫瘍の栄養血管への薬剤の注入や血管を塞栓して壊死させる治療、また狭窄や閉塞を起こした血管の修復などの治療も行います。これらはIVRとよばれ、外科的手術などと並ぶ治療法のひとつです。血管撮影と同時に治療中の確認が行える特別なCT装置も設置しています。

また、その他の検査として一般撮影、歯科撮影、乳房撮影 (マンモグラフィ)、骨密度測定、X線TV透視検査も行っています。

放射線関連全ての画像が院内医療ネットワークを介して各診療科のモニターで閲覧可能となり、迅速に診断価値の高い画像情報を提供しています。また、検査の依頼や予約は、コンピューターを利用したシステムを導入し、患者さまの待ち時間短縮に努めています。放射線部は、最新の技術・設備をもって各診療科との連携を図り、よりよい画像診断・治療などの医療が提供できるようにチーム医療を心がけています。

## 編集後記

今号では、前号で予告させていただいた、センター機能、認定看護師の他、新たに部門紹介をスタートしました。最初は「放射線部」です。病院では、薬剤、リハビリ、検査など様々な部門のスタッフが働いています。これからも、皆さんが病院を身近に感じていただけるよう、順にご紹介したいと思います。ぜひ、ご期待ください。

季節は「秋」。よく、〇〇の秋という言葉を聞きますが、あなたにとって秋といえば何を思い浮かべますか。わたしのおすすめは、「健康の秋」。11月20日に南奈良総合医療センターで開催する「健康フェスティバル2016」に参加され、健康について見つめ直す機会にされてはいかがでしょうか。

寒さがこたえる季節へと移り変わってきています。暖かくして、ご自愛ください。では、また次回。